

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月7日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機 ディーゼル駆動消火ポンプ吐出圧力計の指示不良について】 5号機 ディーゼル駆動消火ポンプの定例試験において、ポンプ吐出圧力計の指示値固着を当直員が確認。当該圧力計は、運転に係る確認計器ではないため運転機能に影響なし。 今後、当該計器の交換を行うとともに、原因を調査し対応を検討する。	GⅢ	7月29日
2	【雑固体廃棄物焼却設備 ろ過水タンク水位計の指示不良について】 雑固体廃棄物焼却設備 ろ過水タンクへの水補給の際、同タンク水位計指示値と補給水インターロック水位スイッチの動作値に、ずれがあることを当社社員が確認。 調査の結果、ろ過水タンクの補給開始/停止は、水位スイッチの設定値どおり正常に制御されていることから、タンク水位計の指示不良と推定。 今後、当該水位計を交換予定。	GⅢ	8月5日
3	【凍土遮水壁設備 補給浄水供給ポンプの軸封部からの連続滴下について】 凍土遮水壁設備に「浄水設備異常」警報が発生。 当社社員が、現場を確認したところ、操作モニターに「フロースイッチ異常」を表すエラー表示を確認。 当該警報のリセット操作を行い、リセットできたことから自動運転に復帰。 その後、補給浄水供給ポンプ軸封部より連続滴下を確認。 今後、軸封部の点検修理を行うとともに、フロースイッチ異常が発生した原因を調査し対応を検討する。	GⅢ	8月5日
4	【護岸ブロック製作作業における協力企業作業員の体調不良発生について】 協力企業作業員が構内土捨場南側エリアにおける護岸ブロック製作作業を終え、帰宅した後、頭痛・嘔吐・めまいを感じたため病院を受診。 熱中症 I と診断を受け、点滴1本および頭痛薬を処方。	GⅢ	8月5日